



平成27年度

第6回 みみらんどセミナー

「自立活動～教科学習を進めるために～」

☆ 実施日時 ☆ 平成27年10月14日(水) 13:15～14:30

☆ テーマ ☆ 「自立活動～教科学習を進めるために～」

☆ 講師 ☆ 福島県立聾学校福島分校
幼稚部 教諭 大槻 敬子



～自立活動とは～

「個々の児童または生徒が自立を目指し、障害による学習上または生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識、技能、態度及び習慣を養い、もって心身の調和的発達を基盤を培う。」

(特別支援学校学習指導要領：文部科学省)



つまずきや困難の基になっているものを改善し、学習の下支えをするもの

自立活動の指導の実際 (VTRで一部を紹介)

～小学部1年生の指導～



「いつ、どこで、だれが、なにを」のキーワードを使って、話のポイントをつかんだり、整理してお話をしたりする学習。

～小学部4・5年生の指導～



3つのヒントから答えを考えていく学習。
1つの物をいろいろな側面から捉え、**概念を形成**していくことにもつながる有効な学習。

教科学習つまずきへの対応

《教科書の中に、わからない言葉が多い。》

○身につけて欲しい言葉は、繰り返し使う。日頃から何度も聞いたことがあると、その語を中心としたネットワークがしやすい。

→印象的な場面に合わせて使うと、記憶に残りやすい。(エピソード記憶)

《学習したことを忘れやすい。》

○耳からの情報は、あいまいで不確かなので、書いて視覚化する。

○学習する内容には、世間一般的な常識(知識)が関係していることも多いので、テレビや新聞などで話題となっていることを意識的に会話にし、情報として入れておくことも大事。

→学習関連だけでなく、流行語やエンタメ的な話題も重要。